

税の仲介サイトによるポイント付与が禁止された影響はあるか。

A 寄附額の前年同期比は、9月末が237.5%で、駆け込み需要により大幅に増加した。一方、11月末が153%で、マイナスの反動があった。

議第38号
令和7年度
三条市一般会計補正予算

Q 総務費の報償金50万円について、東京2025デフリンピックにバレーボール女子日本代表として出場した高橋朋伽選手に三条市民栄誉賞を贈るとのことだが、報償を50万円とした理由を伺う。

A 令和3年度に初めて三条市民栄誉賞を贈った際に、名誉市民への報償が100万円程度であったことを参考に、市民栄誉賞の報償を50万円としたところであり、今回も同様に50万円とした。

Q 教育費のスクールバス運行委託料1892万8000円については、熊の出没に伴い、安全確保のために乗車する児童生徒が増加したことなどを受けての補正である。

スクールバスについては、保安基準が一部改正され、それまで除外されていた補助席にもシートベルトの設置が義務化された。補助席にシートベルトがない

応援することが主な目的で、一時預かり事業とは明確な違いがある。実施が必要な制度のため、賛成すべきである。

議第10号 三条市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について
【賛成】

具体の相談を受ける中、社会人の学び直しのための留学といったニーズに応え、挑戦する人を後押しするという観点から、年齢要件を拡充するものがある。人材育成という本奨学金の目的にかなうことから、賛成すべきである。

議第17号 八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者の指定について
【賛成】

いい湯らていは、市民に福利厚生や健康増進の場を提供する公共施設である。
株式会社下田郷開発は、長年にわたる良好かつ適切な施設の管理、運営を行ってきた。また、温浴施設を管理するノウハウを有しており、昨今の厳しい経営環境の中で懸命にコスト削減、集客努力を続けてきた。

八十里越の開通を見据え、今後は地域の観光交流拠点としての役割も期待されており、株式会社下田郷開発を引き続き指定管理者として指定することに賛成すべきである。

場合、改正前に登録された車両は例外として運行が認められているものの、衝突事故や急ブレーキなどの際に子どもが前方に飛び出してしまいう危険があり、安全性への不安が残る。

スクールバスとして運行する車両は、新基準に適合しているのか伺う。

A 今回の熊対策に係るスクールバスの運行においては、10人弱にシートベルトがない補助席を充てる必要がある。緊急的な状況下であり、より一層の安全な運行に努める。

議第39号
令和7年度
三条市一般会計補正予算

Q 生活困窮世帯灯油購入費助成金3750万円について、昨年度も同様の助成金として3313万円が執行されている。物価高騰による生活困窮世帯数の増減についての見解を伺う。

また、業務システム開発等委託料540万円が計上されているが、昨年度も業務システム開発等委託料として876万1395円が執行されている。昨年度と同様の事業であるが、これは毎回必要なのか、どのような内容なのかを伺う。

A 生活困窮世帯灯油購入費助成金の対象世帯数は、令和3年度が6572世帯、令和4年度が6844世帯、令和5年度が7050世帯、令和

議第33号 三条市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

議第34号 令和7年度三条市一般会計補正予算
【賛成】

各議案の基となる債務負担行為は、令和7年度当初予算において議決済みである。契約額も予算に比べて安価となっており、賛成すべきである。

討論

無 所 属

議第17号 八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者の指定について
【反対】

結論。2年間とはいえ、株式会社下田郷開発に管理運営を延長で委託することは常軌を逸している。「マンネリ、慣性、策なし」とのそりは免れない。

三条市は、合併後の20年間、株式会社下田郷開発に八木ヶ鼻温泉保養交流施設の管理運営を委託してきた。しかし、令和4年度以降の財務面のマイナスだけでも、公共施設運営協力金、経営支援金の名目による赤字補填額が毎年3000〜4000万円、4年間で約1億2000万円になる。また、露天風呂、サウナ、ペレットボイラー等の設備投資も累計で億に届く額である。

施設の設置目的は、「市民に福利厚

6年度が7141世帯で、近年増加の傾向にある。

また、業務システム開発等委託料は、基準日で指定した対象データごとに業務システムを開発するため、事業を実施するたびに必要となる。内容は、対象データを保存するためのデータベース、検索・照会用画面の作成のほか、データの取り込みや一括処理などの作業を行うもの。

討論
TOURON
議論
議案に対して
意見を主張します。

討論

日本共産党議員団

議第2号 三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
【反対】

こども誰でも通園制度は、保護者の就労を要件とせず、生後6カ月から3歳までの子どもが1時間単位で利用でき、月10時間が上限だ。慣れない子どもは、泣き続け、それで時間をすべて使い切る可能性がある。これでは子どもの育ちを応援することにはならない。保育士の配置基準も緩和され、安定した

生及び健康増進の場を提供することとされている。10年前、20年前であれば通用するが、今は時代環境が大きく変わっている。再三の指摘事項だが、三条市が第三セクターとして運営する時代はとうの昔に終わったということである。抜本的な改革をしない限り、三条市のお荷物的存在の状態はこのまま続く。
★サウンディング型市場調査の結果を待ち、新しいスタートを切るとのいちらの望みはあるが、不安は付きまとう。
以上の理由で反対する。

サウンディング型市場調査
一般質問
Q & A
12月定例会



酒井健 議員の質問

柏崎刈羽原発再稼働

Q 新潟県知事の再稼働容認への見解と今後の対応を伺う。

A 知事の判断を尊重。避難道路の確保と除雪体制の強化等の申し入れ、三条市原子力防災ガイドの更新が必要。

保育にも、安全性の確保にも不安があるため反対。

議第10号 三条市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について
【反対】

海外留学に対しては、既に日本学生支援機構の海外留学支援制度等がある。それらとの重複受給が可能な上、給付型であることは優遇しすぎと考え反対。

議第33号 三条市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

議第34号 令和7年度三条市一般会計補正予算

【反対】

建設から30年が経過した市民球場の老朽化対策は必要であるが、改修工事の契約金額が2億5575万円というのは高額過ぎると考え反対。

討論

清 風 会

議第2号 三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
【賛成】

家庭にいないだけでは得られないさまざまな経験を通じて、子どもの育ちを

副市長について

Q 空席の理由と選任について伺う。

A 重要な職であり早期に示したい。

八十里越開通

Q いい湯らてい等のリニューアルについて伺う。

A 市場調査の申し込み9件、開通までの完了を目標としない。

Q 6号盛土の整備状況を伺う。

A 暫定開通までの完了を目指し、国、県と協議している。

Q ダムの活用を伺う。

A 県所管の施設であるため、活用の可能性を情報収集する。

清掃センター

Q 前回火災後の対策の評価と有害ごみ収集について伺う。

A 設置した排煙窓により煙を速やかに排除できた。今後リチウムイオン電池発火に対応する設備改修を検討。収集日増は考えていない。

熊対策